

119. 「映画になった文学作品」（模擬授業：埼玉県立狭山緑陽高等学校、令和 3 年 10 月 14 日）

埼玉県立狭山緑陽高等学校 2 年生を対象に行った。「外国文学・語学」の分野ということから、英語文学を中心にした「映画になった文学作品」を取り上げた。まず「芸術とは何か」から「文学とは何か」を明らかに、ギリシャ以来のミメシスの考え方を示した。その後はアーサー王伝説、『フランケンシュタイン』『ガリバー旅行記』をはじめ、認知度の高い作品が映画化されていること、特にジブリ作品などの原作、誰もが知っているミュージカルである『アニー』『キャッツ』なども取り上げた。ネオファンタジーの代表である『ハリー・ポッター』シリーズではハーフ・ブラッドに着目し、文学だけでなく、現実社会ではこれが民族問題ともつながっていること、差別などとも連動していることも説明した。